

VOL.80
グローバル教育
特別号



特集

グローバル教育の成果

第6回 全国学生英語プレゼンテーションコンテスト
最優秀賞(文部科学大臣賞)受賞!

シルク
新SILC徹底解剖 & 活用法を伝授



写真提供：(株)読売新聞社

第6回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト

最優秀賞 文部科学大臣賞 受賞

2017年12月9日(土) 第6回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト(主催：神田外語グループ、読売新聞社、後援：文部科学省、外務省、米国大使館ほか)が開催され、本学学生が大活躍を見せました。



写真提供：(株)読売新聞社

グローバル教育の成果が実った最高の瞬間！

崇城大学は「実学主義」に重きを置き、生きた英語を学べる英語専門の学習施設があります。それが、2010年に完成した『SILC:シルク(SOJO International Learning Center)』。全国の理系大学初となる英語学習施設の導入は様々な成果を出し、2017年に開催された全国学生英語プレゼンテーションコンテストで127校641名の頂点に輝くという快挙を成し遂げました。審査は英語でのプレゼン内容や口頭発表力をはじめ、質疑応答の対応力も重視されるというハードルの高さ。スキルアップした受賞者たちが、SILCをどのように活用して本選に臨んだのかを取材しました。

最優秀賞 崇城大学
—文部科学大臣賞—

優秀賞
(個人の部)

東京外国語大学

優秀賞
(グループの部)

国際教養大学

日頃の研究とSILCの活用が決め手になりました！

日頃の研究成果+英語力が受賞の決め手

元々、古賀さんと後藤さんは起業部に所属。農作物の成長を促す光合成細菌を、球磨焼酎の粕を利用して培養させる研究を行っていました。コンテスト出場に際し、英語力強化を目指してヒエンさんが加入。「約1年にわたる研究で得た緻密なデータと語学力、両方揃ったからこそ優勝できた」と分析します。実際、他の挑戦者は質疑応答に苦戦しますが、3人は「他に質問は？」と審査員に尋ねるほど余裕があったとか。

朝・昼・夕方、SILCに通い詰めでスキルアップ

落ち着いて大会に臨めたのは、SILCの先生に全面的にサポートしてもらい万全の準備を行ったからだとか。「まずは研究成果を英語で原稿におこし、文法や発音を細かくチェックしてもらいました。それこそ朝から夜まで空いている時間は全部私たちが予約する勢い(笑)」。時には先生たちが「こっちの方がいい」「いやこうだ」と白熱の議論を繰り広げるほど真剣で、自ずと気合いが入ったそうです。

コンテスト出発直前のプレゼンチェックで総仕上げ

「先生が部室でプレゼンの最終確認してくれた事が嬉しかった」と振り返る3人。そこで全体的に「Great!」とアドバイスをもらい、安心して大会を楽しめたそうです。快挙を成し遂げた彼女たちですが「英語に苦手意識があった」と言うから意外です。「初めてSILCを訪れるときは勇気があるけど、慣れると楽しいし挑戦を全力でサポートしてくれる。英語力を身につけて世界への扉が開きました」。

チームCiamo

Ciamo発表内容

「球磨焼酎粕を利用した光合成細菌の培養キットの研究開発と販売」



大会の直前までSILCの教員によるサポートを受けたことが成功につながった！

左:Branden先生(SILC教員)

左:ヒエンさん(工学部 ナノサイエンス学科4年生/ベトナム出身)
中央:古賀さん(大学院 工学研究科博士前期課程応用生命科学専攻2年生/熊本県/人吉高校出身)
右:後藤さん(大学院 工学研究科修士課程応用微生物工学専攻1年生/大分県/日田高校出身)

トップ50入賞者

テーマ決めから切り口、内容までSILC頼みでした

サフィトリさん(情報学部 情報学科4年生/インドネシア出身)
最初は英語が苦手でしたが、SILCの受付でバイトをする内に好きになりました。コンテスト準備もSILCの教員に色々相談しました！内容、文法、プレゼン方法、発音に至るまで細かく指導してもらい今回の成果につながりました。



1次予選通過者

サポート&アドバイスでより実践的な仕上がり

吉田さん(工学部 機械工学科3年生/熊本県/第二高校出身)
2016年は学内の英語プレゼンコンテスト、2017年は全国学生英語プレゼンコンテストにトライするなど、毎年新しいことに挑戦するようにしています！1次審査のプレゼン映像撮影や、内容のブラッシュアップでSILCを活用！今年は海外への短期留学で英語力を更に磨き、全国英語プレゼンコンテストでリベンジをします！





SoJO Internatio

What's SILC? —SILCでできること!—

大学内なのに留学気分で生きた英語を楽しく学ぶ!

SILCのテーマは“学内留学”。扉をくぐった瞬間から英語が飛び交っているの、毎日気軽に留学気分を味わえるのが魅力。外国人講師も多数在籍していて、スピーキングだけでなく、ライティングやTOEIC対策も行うことができます。1階にはガラス張りの開放的な雰囲気の『SILC CAFE』も併設していて、大学とは思えないオシャレな雰囲気も魅力の一つです。もっと英語力を伸ばしたい人も、これから英語を学び直したい人も、それぞれのレベルに合った使い方ができます。まずは気軽に新しくなったSILCに足を運んでみましょう!きっと英語の楽しさや、魅力が見つかります!

2018年4月
リニューアル
OPEN

ラーニングアドバイザーサービス(※)を予約!

※専任のラーニングアドバイザーと呼ばれる教員が常駐。英語学習に関する悩みや質問、学習計画のサポートを行います。

カンバセーションラウンジで、英語で楽しくコミュニケーション。

SILCを活用する学生に聞いてみた!

Student Voices

SILCを最大限活用して2度目の留学に旅立ちます!

篠原さん

(薬学部 薬学科5年生/福岡県/明治学園高校出身)

SILCの魅力は目的別に色々な使い方ができること。英検受験対策から、プレゼンテーションコンテストに参加する為の原稿添削、留学準備のスピーキング強化まで。英語面接をクリアドイツへ留学できたのも、SILCで万全の準備ができたからだと思います。今春は2度目の留学で香港大学に行ってきます。



将来の就職試験のためにTOEIC対策を万全に!

齋藤さん

(工学部 宇宙航空システム工学科航空操縦学専攻2年生/神奈川県/湘南工科大学附属高校出身)

パイロットになるために英語は不可欠です。そのためにTOEIC対策を日々行っています。SILCにはリスニング対策を行うために、カンバセーションラウンジに時間が空いた時に通っています。また問題集なども揃っている上に、勉強方法などのアドバイスも頂けるのでとても助かってます!



nal Learning Center

サルク SALC: 自律学修センター (Self-Access Learning Center)

英語の自学・自習をあらゆる角度からサポート

SALCは自律学修をサポートするセンターです。「授業だけでなく、もっと英語を勉強したい」「夏休みに海外に行くので会話を練習したい」など、一人ひとりのニーズに応えるため、豊富な英語の教材を揃えています。「聞く、読む、書く、話す」のうち、自分の苦手なところを、好きな時間に、自分に合ったペースで学習できます。



レベル分けされた英語の本や雑誌をチョイス可!

SALCで受けられる様々なサービス

●カンパセーションラウンジ

毎日楽しく遊びながら生きた英語を習得

学生に一番人気のエリア。12時から18時まで外国人講師が待機していて、豊富に揃う英語版テレビゲームやボードゲームで遊びながら生きた英会話を身につけられます。飲食も自由なので、リラックスした雰囲気が魅力。



●スピーキングセンター

マンツーマンでスピーキング力を磨ける!

外国人講師と1対1で、英会話レッスンを集中して行えます。会話力アップや英語面接の練習はもちろん、講師とのおしゃべりを楽しむために利用するのもOK。利用は1回15分で、オンラインからの予約制です。



●ライティングセンター

コンテストや論文へのチャレンジも応援

ここでは、英文の下書き、作文、校正、編集などライティング全般について個別指導を行います。英語プレゼンコンテストの原稿添削や論文のアドバイスなど活用方法は多彩。利用は1回30分で、オンラインからの予約制です。

WE ARE SILC

TESOL(英語教授法)^{※1}の 有資格者がカリキュラムを考案

Jon Rowberry 先生(出身:イギリス)

全学科で1~2年次に必修科目となる英語の授業はSILCで行っています。カリキュラムを考案するのは、英語を母語としない人たちに教える専門資格“TESOL”^{※1}を持った外国人講師陣。常に学生に合ったカリキュラムを目指し、数ヶ月ごとに授業内容を見直しています。また、レベル別にクラスを分けて英語の4技能の読む・聴く・話す・書く力を磨きますので、「テスト対策の使えない英語」ではなく、「社会で使える生きた英語」を修得できますよ。

新しいSILCに 私たち講師もワクワク♪

Rachel Barington 先生(出身:アメリカ)

SILCは遊びながら英語に親しみ、自然とスキルアップできる場所です。しかも、新しくなったSILCは1階におしゃれなカフェができるから私たちも楽しみ。他にも英語のカラオケや映画、漫画、ゲームなどが揃っているので、利用しないのはもったいない(笑)。ちなみに私の得意なカラオケナンバーは“QUEEN”。以前、学園祭で歌って準優勝したこともあるんですよ。ぜひ皆さんもカフェやカラオケを利用してください。

C TEACHERS

携帯アプリを活用し、 いつでもどこでも英語にアクセス！

Elton La Clare 先生(出身:カナダ)

英語をマスターするには時間がかかりますので、少しずつでも毎日必ず触れることがスキルアップの近道です。ぜひ私たちが開発したオンライン学習プログラム“SOJO-Moodle”※2を活用してください。スマホやパソコンを使って英語で会話をしたり、Q&Aに挑戦したり、スピーキングを録音したり、色々なことができる優れたものです。アプリを立ち上げるだけで、バス待ちやランチ後のちょっとした空き時間が学習の場になります！

楽しいイベントを計画中！ 是非参加しましょう！

Levy Solomon 先生(出身:アメリカ)

SILCは気軽に国際交流できて、楽しみながら英語力を磨けるステキな場所です。「英語が苦手だけど利用してみたい」という人は、ぜひイベントから参加してください。学生主体で年に4回イベントを開催していて、4月は“ウェルカムパーティ”を盛大に行います。また、今年からヨガやチェス、ボードゲームなどミニイベントを定期的に開催する予定なので期待してください。

日本人の ラーニングアドバイザーも在籍

日本人のラーニングアドバイザーも2人いますので、日本語でもOKです。授業での悩み・不安や英語学習の計画、学習方法から海外留学や資格試験、英語に関する相談に対応します。

宝来先生



グローバルな視野が広がる留学体

～英語のスキルもアップし

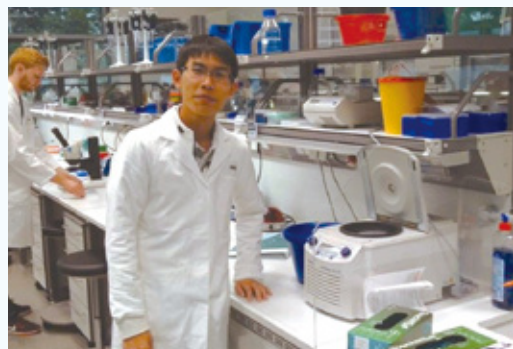


英語面接をパスし熊本市代表として留学！



生物生命学部応用生命科学科 4年生 孫さん〈鹿児島県 / 私立れいめい高校出身〉
ハイデルベルク・サマーサイエンススクール（熊本市主催）参加 / 2017年7月～8月

入学後すぐ、世界屈指の研究機関が集まるハイデルベルク市への留学制度があることを知り、「代表に選ばれたい!」と一念発起。週に3度は SILC に通い、カンパセーションラウンジでスピーキング力を徹底的に磨きました。また SILCに通う時間がない時は日記をつけ、添削してもらうことで効率よくスキルアップ。努力が実り手にした留学は、8ヶ国から集まった学生と交流する貴重な時間になりました。今後は世界の文化背景を勉強し、ジョークも覚えて高いコミュニケーション能力を身につけたいです。



EMBL (European Molecular Biology Laboratory) で海外の学生と協力し合いながら実験しました。(右)

Study abroad

1ヶ月間集中学習でTOEICの点数が300点UP!



生物生命学部応用微生物工学科 4年生 高田さん〈熊本県 / 第二高校出身〉
フィリピン・CIP 語学学校留学 / 2017年8月～9月

大学2年の時に初めて受験したTOEICで460点しかとれなくて…。「これじゃダメだ」と気合いが入り、「目標700点」を掲げて励む日々が始まりました。毎日SILCに通い、最低15分の会話と30分の勉強を習慣づけ。1年続けることで変化を実感できたので、総仕上げのためにフィリピンの語学学校に1ヶ月間通いました。留学中は毎日模擬試験がありますし、夜10時まで自習が義務づけられていたから大変(笑)。でも、その成果がしっかり出て直近の試験で725点を獲得! 800点超えを目指してまだまだ頑張ります。



留学中、最後の2週間は English Onlyプログラムにチャレンジ。挑戦中の仲間とお揃いのTシャツを着て。(左)

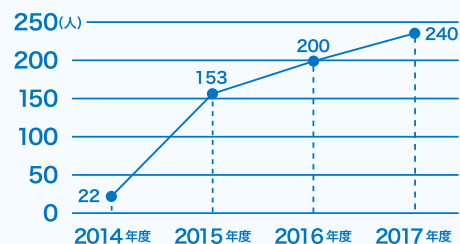


験！240名が海外へ



ました～

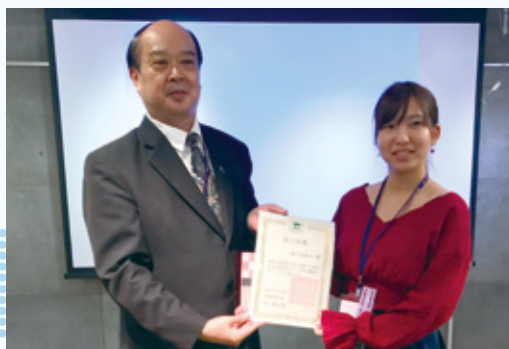
■海外留学者推移



色々な世界の習慣や文化を体験したい！

生物生命学部応用微生物工学科3年生 清川さん〈福岡県 / 八幡中央高校出身〉
台湾・高苑科技大学・留学プログラムに参加 / 2017年11月

以前、アメリカ留学を経験した際に、日本との習慣や文化の違いを感じ、他の国にも関心を持つようになりました。先生の薦めもあり、今回はアジア圏の台湾を選びました。4日間の短期のプログラムではありましたが、現地の大学生との交流会では、お互いに質問をし合い、日本語についてや国の文化についてを話し合いました。他には最先端の半導体企業への訪問、台湾名物の夜市見学など、日本では出来ない様々な体験をしました。おかげで台湾人の友人もでき、SNSなどで今でも連絡を取っています。



協定校である高苑科技大学(台湾・高雄市)にて研修を終え修了証をいただきました。(右)



Experiences

日本文化を広める架け橋になりたい！

生物生命学部応用生命科学学科4年生 緒方さん〈熊本県 / 第一高校出身〉
インドネシア(バリ)JENESYSプログラム※に参加 / 2018年1月～2月

もともと海外に興味があり個人で5回、韓国へ行きました。もっと日本文化を海外へ広める架け橋になりたいと思い、JENESYSのプログラムに参加しました。バリでは現地の2つの大学で熊本や崇城大学のことを紹介するプレゼンテーションを実施。また、1日だけホームステイを体験し、バリの伝統料理をご馳走になったり、伝統衣装をプレゼントされたりと、とてもいい思い出ができました。これからはSILCで会話を中心に英語力にさらに磨きをかけて、またいつか海外へ行って日本文化を広めていきたいと思います！

※JENESYSプログラム：日本政府(外務省)が推進する事業で日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するプロジェクト。



ホームステイ先のファミリーと。(右)海外の文化に触れ、また一つ勉強になりました。



JOIN US AND

SILCでは英語を使った楽
気軽に参加

ウェルカムパーティ



クリスマスパーティ



セタパーティ



D HAVE FUN!

しいイベントがいっぱい!
してみよう!

SOJO English Challenge



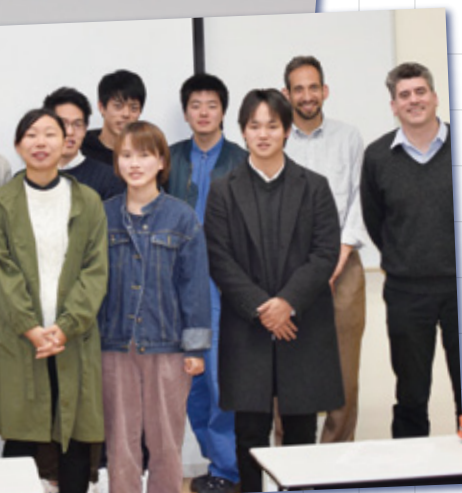
崇城大学では高校生の皆さんに英語への関心を高めてもらい、英語を話すことを楽しんでもらうため、「SOJO English Challenge」を毎年開催しています! テーマに沿った英語プレゼンをしたり外国人講師と様々なアクティビティで楽しんだり、留学気分が味わえるプログラムを用意しています!

【2017 年度出場校】(19 校 71 チーム応募のうち 12 チーム選出)
熊本県/ 鹿本高校、熊本マリスト学園高校、必由館高校、水俣高校
福岡県/ 九州産業大学付属九州高校、玄界高校、西南女学院高校、山門高校
宮崎県/ 福島高校
鹿児島県/ 大口高校、川辺高校
沖縄県/ 沖縄尚学高校

英語プレゼンコンテスト



ハロウィンパーティ



NEW SILC

さらに充実した英語教育を目指して



崇城大学
SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部	情報学部	芸術学部
薬学科	応用微生物 工学科	機械工学科	情報学科	美術学科
	応用生命 科学科	ナノサイエンス 学科	建築学科	デザイン学科
		宇宙航空 システム 工学科		



2018年4月
リニューアル
OPEN

SOJO International Learning Center



〒860-0082 熊本県西区池田4-22-1
tel.096-326-3111(代表) fax.096-326-3000
広報誌「かくふろ」第80号2版発行 2018年5月
崇城大学広報誌編集委員会・学生広報委員 広報課
※缶風の定期発送希望の方は、氏名・住所・学校名・Eメールアドレスを
ご記入の上、広報課(koho@ofc.sojo-u.ac.jp)までご連絡ください。
ご意見・ご感想お待ちしております。

SILC講師陣